

日本初、海外産バイオメタンを活用したカーボン・オフセット都市ガスを商業施設で利用  
～ 三井ショッピングパーク ららぽーと EXPOCITY で脱炭素化を推進 ～

2026年 3月 23日

大阪ガス株式会社

Daigas エナジー株式会社

三井不動産株式会社

大阪ガス株式会社（社長：藤原 正隆、以下「大阪ガス」）、Daigas エナジー株式会社（社長：福谷 博善、以下「Daigas エナジー」）および三井不動産株式会社（社長：植田 俊、以下「三井不動産」）は、三井ショッピングパーク ららぽーと EXPOCITY（所在：大阪府吹田市、以下「ららぽーと EXPOCITY」）において、米国産バイオメタンの環境価値証明書<sup>※1</sup>を付与したカーボン・オフセット都市ガスを利用することに合意しました。本取り組みは、海外産バイオメタンを日本の商業施設で初めて活用する取り組みであり、カーボンニュートラル社会の実現に向けた新たな一歩となります。

バイオメタンは食品残渣などの有機物が分解される過程で生じるバイオガスを精製したものです<sup>※2</sup>。原料となる有機物は、成長過程でCO<sub>2</sub>を吸収した植物などに由来するため、燃焼しても大気中のCO<sub>2</sub>総量を増やさないカーボンニュートラルなエネルギーとして注目されています。

本取り組みでは、大阪ガスおよび Daigas エナジーが米国から輸入したバイオメタンの環境価値証明書を付与したカーボン・オフセット都市ガスをららぽーと EXPOCITY へ供給し環境負荷の低減を図ります。

今後も Daigas グループと三井不動産は、都市・商業施設における脱炭素化を推進し、持続可能な社会の実現に貢献してまいります。

<本取り組みのイメージ>



1. 米国産バイオメタンの環境価値証明書を付与したカーボン・オフセット都市ガスの概要<sup>※3</sup>

大阪ガスは2026年1月に、bpグループのArchaea Energy社が米国で生産したバイオメタンを泉北製造所で受け入れました。ららぽーと EXPOCITYでは、バイオメタンの環境価値（ゼロエミ価値）の証明書を付与したカーボン・オフセット都市ガスを利用します。

## 2. ららぽーと EXPOCITY で開催される「デカボ EXPO」の概要

カーボン・オフセット都市ガスの供給期間中、ららぽーと EXPOCITY では、参加店舗の商品、館内の設備が脱炭素にどれくらい貢献しているかを見える化し、来館者が脱炭素に興味を持ち実際にアクションを起こしたくなるような啓発イベント「デカボ EXPO」を開催します。

大阪ガスおよび Daigas エナジーは、「デカボ EXPO」に協賛し、カーボンニュートラル社会実現に向けた Daigas グループの取り組みを紹介します。

【開催期間】2026年3月23日(月)～29日(日)

※Daigas グループのブース出展は3月28日(土)～29日(日)

【開催場所】ららぽーと EXPOCITY 光の広場

【ホームページ】[デカボ EXPO](#)

<ららぽーと EXPOCITY 光の広場>



## 3. Daigas グループ・三井不動産グループのサステナビリティへの取り組みについて

Daigas グループは、2025年2月に発表した「エネルギー・トランジション 2050」のもと、脱炭素社会に貢献する技術・サービスの開発に取り組み、様々なステークホルダーとともに気候変動をはじめとする社会課題の解決に資する価値「ミライ価値」を創造し、「時代を超えて選ばれ続ける革新的なエネルギー&サービスカンパニー」への進化と、持続可能な社会の実現への貢献を目指してまいります。

(参考) エネルギー・トランジション 2050 : [リンクはこちら](#)

三井不動産グループは、「共生・共存・共創により新たな価値を創出する、そのための挑戦を続ける」という「&マーク」の理念に基づき、「社会的価値の創出」と「経済的価値の創出」を車の両輪ととらえ、社会的価値を創出することが 経済的価値の創出につながり、その経済的価値によって更に大きな社会的価値の創出を実現したいと考えています。2024年4月の新グループ経営理念策定時、「GROUP MATERIALITY (重点的に取り組む課題)」として、「1. 産業競争力への貢献」、「2. 環境との共生」、「3. 健やか・活力」、「4. 安全・安心」、「5. ダイバーシティ&インクルージョン」、「6. コンプライアンス・ガバナンス」の6つを特定しました。これらのマテリアリティに本業を通じて取り組み、サステナビリティに貢献していきます。

(参考) グループ長期経営方針 : [リンクはこちら](#)      グループマテリアリティ : [リンクはこちら](#)

※1: 現在、海外産 e-メタン・バイオメタンが保有する環境価値は我が国の温室効果ガス排出量 算定・報告・公表制度 (SHK 制度) 等での活用は認められておらず、国の審議会等で算定ルールの検討が進められている。本取り組みでは北米で運用されている環境価値の証明・追跡を行うシステム「M-RETS (Midwest Renewable Energy Tracking System)」により生成される環境価値を活用する

※2: バイオメタンは、バイオガスの精製 (CO<sub>2</sub>除去等) により天然ガスと同程度までメタン濃度を高めたガス。

バイオガスは、メタン発酵等により食品残渣、下水汚泥などの有機化合物から発生するメタン・CO<sub>2</sub>を主成分とするガス

※3: 大阪ガスプレスリリース : [リンクはこちら](#)

以上